

令和2年12月25日

関係各位

薬 剤 部 長

医薬品情報第8号（令和2年度）

令和2年12月9日に開催された薬事委員会において、次の事項が承認されましたのでお知らせいたします。新規試用採用医薬品は2品目、削除医薬品は1品目です。

〔新規試用採用医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	エクストラニール腹膜透析液 シングルバッグ・機器専用 1500mL	¥727/袋	腹膜透析液	人工透析用剤	非該当	バクスター
2	ルムジェブ注ミリオペン	¥1,400/キット	インスリンリスプロ (遺伝子組換え)	糖尿病用剤 (インスリン製剤)	否	リリー

〔新規限定採用医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	インテバン坐剤 25	¥19.7/個	インドメタシン坐剤	消炎・鎮痛剤	可	帝国製薬
2	エビリファイ持続性水懸筋注 用 400mg	¥44,567/キット	アリピプラゾール水和物	持効型抗精神病薬	非該当	大塚製薬
3	グラナテック点眼液 0.4%	¥454.5/mL	リパスジル	緑内障治療薬	可	興和
4	ブリピナ点眼液	¥5.3/mL	ナファゾリン硝酸塩	眼科用局所血管収縮剤	可	日新製薬
5	レキサルティ錠 2mg	¥511.6/錠	プレクスピプラゾール	非定型抗精神病薬	可	大塚製薬

☆削除対象医薬品について

No	薬品名	薬効	同効薬	理由
1	キョウニン水	鎮咳薬	その他の鎮咳薬	採用医薬品の整理
2	アピドラ注ノロスター	超速効型インスリン製剤	ノボラピッド・フィアスプ	採用医薬品の整理

* 上記削除対象医薬品について異議がございましたら、12月28日までに薬剤部薬務(内線 40141)までご連絡下さい。

☆削除医薬品について

No	削除医薬品	薬効	同効薬	在庫数 (2020.12時点)
1	イオパーク 350 注 50mL	造影剤	イオパーク 350 注 100mL	0本

〔新規院外登録医薬品〕

No	薬品名	薬価	一般名	薬効	長期投与	会社名
1	バクスマー一点鼻粉末剤	¥8,368.6/瓶	グルカゴン噴霧剤	膵臓ホルモン剤	2瓶 まで	リリー

1. DRUG SAFETY UPDATE(No.294)

2. その他 重要な添付文書改訂情報

一般名/採用薬品	改訂箇所・内容						
<p>テモカプリル塩酸塩 テモカプリル塩酸塩錠「サワイ」</p>	<p>[禁忌] 追記 アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) を投与中の患者、あるいは投与中止から 36 時間 以内の患者</p> <p>[併用禁忌] 追記</p> <table border="1" data-bbox="635 680 1069 853"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI) (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) [2.7参照]</td> <td>血管浮腫があらわれるおそれがある。本剤投与終了後にARNIを投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。また、ARNIが投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。</td> <td>併用により相加的にブラジキニンの分解を抑制され、ブラジキニンの血中濃度が上昇する可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI) (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) [2.7参照]	血管浮腫があらわれるおそれがある。本剤投与終了後にARNIを投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。また、ARNIが投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。	併用により相加的にブラジキニンの分解を抑制され、ブラジキニンの血中濃度が上昇する可能性がある。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI) (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) [2.7参照]	血管浮腫があらわれるおそれがある。本剤投与終了後にARNIを投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。また、ARNIが投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。	併用により相加的にブラジキニンの分解を抑制され、ブラジキニンの血中濃度が上昇する可能性がある。					
<p>ペリンドプリルエルブミン ペリンドプリル錠「日医工」</p>	<p>[禁忌] 追記 アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) を投与中の患者又は投与中止から 36 時間以内の 患者</p> <p>[併用禁忌] 追記</p> <table border="1" data-bbox="635 1196 1069 1368"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) [2.2参照]</td> <td>血管浮腫があらわれるおそれがある。左記薬剤が投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。また、本剤投与終了後に左記薬剤を投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。</td> <td>併用により相加的にブラジキニンの分解を抑制し、血管浮腫のリスクを増加させる可能性がある。</td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) [2.2参照]	血管浮腫があらわれるおそれがある。左記薬剤が投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。また、本剤投与終了後に左記薬剤を投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。	併用により相加的にブラジキニンの分解を抑制し、血管浮腫のリスクを増加させる可能性がある。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子					
アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (サクビト rilバルサルタンナトリウム水和物) [2.2参照]	血管浮腫があらわれるおそれがある。左記薬剤が投与されている場合は、少なくとも本剤投与開始36時間前に中止すること。また、本剤投与終了後に左記薬剤を投与する場合は、本剤の最終投与から36時間後までは投与しないこと。	併用により相加的にブラジキニンの分解を抑制し、血管浮腫のリスクを増加させる可能性がある。					

☆期限切迫医薬品

☆その他

1. ソフトバッグ製剤の供給再開について

- ・リネゾリド点滴静注液 600mg「日医工」 →再開未
- ・塩酸ドパミン注キット 600 →12月15日より再開済み
- ・リドカイン点滴静注液 1%「タカタ」 →問題のないロットの製品と交換済み

2. 医薬品の名称変更について

- ・造影剤
- ・アモキシシリン細粒 10%「タツミ」 →なくなり次第「TCK」へ切り替え
- ・サラゾスルフアピリジン腸溶錠 500mg「テバ」 →なくなり次第「武田テバ」へ切り替え

3. 医薬品の自主回収について

- デジレル錠 25 →薬剤部連絡第 62 号で案内済み
 - イトラコナゾール錠 50「MEEK」 →薬剤部連絡第 68,69 号で案内済み
4. 製薬会社の院内宣伝許可の廃止について
- 2021 年 1 月より、薬価収載されれば製薬会社は薬剤部の宣伝許可なく院内で情報提供を行う